

山里小学校の特別支援教育について

～子どもたち一人ひとりにあったサポートを目指して～

特別支援教育とは…

学校全体で、特別支援学級はもちろん、通常学級に在籍する生活や学習上の支援の必要な子どもたちに対して、その一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育や指導、支援を行うというものです。

特別支援教育は、すべての子どもたちが個人の能力を発揮しつつ、自立し、支え合う社会の実現を目指しています。特別支援教育の充実が、子どもたちの確かな学力の向上や、豊かな心の育成につながると考えています。

山里小学校の特別支援教育

学校全体

- 毎月、全職員で児童理解のための情報交換会を行います。
- 校内支援委員会を組織し、支援の必要な児童の状況を把握し、対応や方法を話し合います。
- 特別支援コーディネーターを中心に、校内における支援方法の具現化、外部機関との連携などを行います。

※①

※②

※①

特別支援学級

- <やまばと・きじばと学級（自閉症・情緒）>
- <ひばり学級（知的）>
- <つぐみ学級（肢体不自由）>
- <つる学級（病弱）>
- 在籍児に対して個に応じた指導を目指しています。
- 通常学級との交流学习を行っています。
- 市内の特別支援学級や山里中との交流活動を行っています。
- 通常学級へ資料や教材の提供を行っています。
- 通常学級の児童に対して必要に応じて支援を行っています。

交流学习
共同学習

通常学級

- 子どもの特性の理解に努め、個に応じた支援を目指しています。
- 板書や教室環境を工夫して、子どもたちが学習しやすい環境づくりを心がけています。
- 少人数指導やTT（ティームティーチング）等によって、より個別的な指導ができるようにしています。また、必要に応じて個別指導教室（けやきルーム）で個別の学習支援指導を行っています。

連携

連携

通級指導教室 <つばめ教室>

- 個別の支援が必要な通常学級の子どもに、週に1回から2回個別・小集団の指導を行います。
- 子ども一人一人の特性やニーズに合った指導を行います。
- 在籍学級との連携に努め、担任の先生と情報交換を行っています。
- 通常学級の子どもたちの教育相談も行っています。

※②

外部の機関との連携

巡回相談：子どもの発達や指導法について専門家が来校し、教師や保護者の相談にのってくれます。
通級指導教室（きこえとことば）：諏訪小・大園小・矢上小・南陽小にあります。きこえやことばの発達などでのサポートを受けることができます。
特別支援学校：子どもの発達や特性を調べてもらい、指導法などについてのアドバイスを受れたり、相談したりすることができます。
医療・福祉機関ハートセンター等と連絡を取り合いながら、子どもの特性に応じた指導ができるようにしていきます。